未来を守る 小学生防災士（ぼうさいし）

東北最年少防災士に

●仙台の小６・小田嶋壱郎くん

2021 年 8 月 5 日の河北新報に仙台市片平丁小学校 6 年生の小田嶋壱郎くんの記事が掲載されました。

壱郎くんは 7 月に NPO 法人日本防災士機構が認定する防災士の試験に合格し、**東北初の小学生防災士**が誕生しました。機構によると、**東北最年少**とのこと。

壱郎くんに防災士のこと、防災・減災について思っていることなど、いろいろ教えてもらいました。

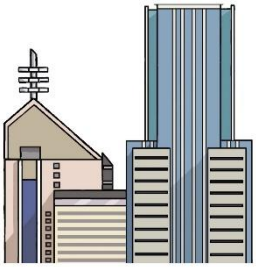
先生が教室に貼ってくれました

小田嶋　壱郎　くん

小学生防災士（ぼうさいし）　壱郎（いちろう）くんへ

10問10答

教えて



問（とい）

1 防災士（ぼうさいし）を知ったのはいつごろですか？

答（こたえ）

一年生くらいです。家に取材班が来て、母に防災士のことを聞いているのを見て「防災士って何だろう？」って思いました。

問（とい）　答（こたえ）

2 どうして防災士（ぼうさいし）になろうと思ったのですか？

母のお仕事が「かっこいいなぁ」と思ってなりました。3歳くらいの時に、母が減災絵本『リオン』っていう本を書いていて「防災士って本を書くこと？」って最初は思っていました。

3 減災絵本（げんさいえほん）『リオン』について教えて下さい

自助の大切さが書かれています。母と防災士の仲間たちが作りました。リオン（ダン・ド・リオン）はフランス語で「たんぽぽの綿毛」という意味です。

『リオン』には、壱郎くんとママが登場します。

普段と災害時にどうするか、津波・台風のことなどが描かれています。

全国に20万人くらいいる防災士。
「地域の防災リーダー」がキーワードです。

4 防災士（ぼうさいし）ってどんなことをするのですか？

災害があったら被災地に駆けつけてボランティアをします。
いつもは地域の防災リーダーとして、地域の一番危ない所やハザードマップを点検したりします。

日頃の備えも大切な役割。ハザードマップを見ることで自分がいる場所にどういう危険があるか知ることができるので、皆さんに見てもらえるような働きかけをします。

5 お家（うち）ではどんな備（そな）えをしていますか？

非常持ち出し袋の確認や、いつ災害が起きても大丈夫なようにしておきます。

問（とい）　答（こたえ）

6 学校ではどんなことをしていますか？

学校では「3.11 から未来へ」っていう教科書があって、年に何回かそういう授業をします。東日本大震災で、何があったのかを教えてもらっています。

7 3.11 東日本大震災（ひがしにほんだいしんさい）の時は？

1 歳で、その時、東日本大震災が起こっていても、昼寝していて全然起きなかったらしいです。

大きな揺れの中でも防災士として危険な場所を避け、適切な対応をしたお母さん。

壱郎くんは全然起きなかったので「大物になるね」と言われていたそうです。

8 こんなことをしたいということはありますか？

保育園や幼稚園で減災絵本『リオン』の読み聞かせをしたいです。そして、災害があった時には避難所やその地域に行ってボランティアをしたいです。

9 みんなに気をつけてほしいことはありますか？

地震が起きた時に机の下に入ること。うちのクラスは地震って感じただけでも入るから、揺れに気づかなかったりすると取り残されて目だちます。

「自助」は自分自身の身の安全を守ること。

頭を守る、身体を守るっていうことが大切。

問（とい） 10 あちこちで起こっている災害（さいがい）について

答（こたえ）

その原因としては地球温暖化だと思います。南極の氷とかもとけてしまうし、多すぎるCO^2を出しているのでそんなことになるのだと思います。

詳細は「防災士会みやぎ」の HP に

【減災絵本（げんさいえほん） リオン】

壱郎くんのお母さんが「防災士会みやぎ」で活動していた４人の仲間と一緒に作った絵本です。

頭を守る、身体を守るっていうことが大切だとこの絵本では教えられています。

幼少期にこういう絵本に触れることで、防災の授業や SDGs などに興味を持つきっかけになっていくことも願いの一つ。発行から８年、そういう声も寄せられてきているそうです。

【 防災士（ぼうさいし） 】

「自助」・「共助」・「協働」を柱にして、災害が起きる前に啓蒙・啓発活動をしたり、災害が起きた時に初動・情報提供・サポートなどの自主的な活動をします。

NPO 法人「日本防災士機構」が認定する民間の資格です。

一番嬉しかったのが、このカード

取材協力：小田嶋壱郎くん、小田嶋典子さん　　取材：P フェス特集部会（関口、木村）

イラスト：いらすとや＋せっきー